

令和5年度

保谷小学校

1年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：生活科「きせつとなかよし あき」
(活動名)

ねらい：秋の自然を観察したり、自然物を使って遊んだりする活動から、生活を楽しく創り出す。学校やこの地域ならではの自然の豊かさに気づき、関わることで、地域の良さを感じ取り、生活の中に四季の変化に応じた生活の楽しさを想像していくことをねらいとしている。



【10月～11月】
校庭での秋の宝物探し
とちの実が拾えます。

自然豊かな校庭で、植物や虫、野鳥などと触れ合う活動を充実させています。春から夏、夏から秋へと変化を実感しています。



【11月15日】碧山の森
【11月27日】
いこいの森公園

身近な地域での自然体験を行いました。落ち葉での遊び、木の実集めなど自分たちでの活動の創造が始まりました。



教室には、「あきのたからもの」コーナーを設置し、使いたいものを使って、様々な活動ができるようにしました。



【12月】「秋の宝物で作ったよの会」での交流

探してきた秋の宝物での自由な作品作りをし、工夫したゲームや飾りなど、個々にオリジナルの工夫をして活動を楽しみました。児童の希望で、校庭での宝物探しが繰り返されました。

コラム

- ・自分たちの周りに様々な自然があることに気づき、触れ合う活動を繰り返すことで、小さな日々の変化を感じたり、地域を大切にしたいという思いを育てることができた。
- ・今後は、地域の環境に関わる人々とのかかわりについても考えていきたい。